

校長室から

ひがしなら通心

(R元年度)

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 46

令和元年11月20日(水)発行

おめでとうございます！

この5月、第52回おかあさんの詩（主催：ハナマルキ株式会社、後援：毎日小学生新聞）コンクールに応募した4年生の石山 桜子さんが佳作に入賞しました。おめでとうございます！



このコンクールはお味噌で有名なハナマルキ株式会社が「母の日」に向けて行い、今年で52回目となりました。今年是全国から1188点の応募がありました。おかあさんは毎日毎日、家族みんなのために、仕事に家事に全力で走っています。おかあさんのおかあさん（おばあさん）も、そのまたおかあさん（ひいおばあさん）も家族のためにがんばってきました。そんなおかあさんに「ありがとう」の気持ちを込めたのが「おかあさんの詩」です。

心からねがう
わたしはいつもきく
こうきくんだ
お母さん、元気
お母さんは うん、元気
といつもいう
本当か、しらない
いつも同じ答え
わたしは 心からねがう
しあわせですように
いつも思う
だからいつか
しあわせ といっってほしい
えがおでいてほしい
わたしのことを
しんぱいしてくれる
お母さん
ありがとう

ひ とつにみんなでまとまろう！
が くりよくと体力をのばそう！
し っかりせいかつしよう！
な かよく友だちとすごそう！
ら んらん夢に向かう東奈良っ子！

あ いさつができる子
い っしょうけんめい勉強する子
う んどうが好きな子
え がおでやさしい子
お そうじをがんばる子

ネット社会だからこそ新聞を

大学生 18 (鹿児島市)

ソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)をはじめとするネット社会の発達を背景に、若者の新聞離れは深刻化しているように思う。現在一人暮らしで新聞を購読していない私は、夏休みが明けたのを機に、毎日図書館で新聞を読むことにした。きっかけは単純で、購読料を節約しつつ新聞各紙を読もうという思いが強かった。

しかし、新聞を読み始めると自分の知らない情報だらけで驚いた。ネットで大量の情報に触れていたはずなのに、初めて知るニュースも少なくなく、それまでネット頼みで把握していた世の中の情勢が、いかに限定的で偏っていたかをまざまざと思い知らされた。

自分の趣味や嗜好を追求し、他者との交流を深めるためのツールとしては、インターネットの右に出るものはきっと存在しない。そして今後さらに進化していくことは必至だろう。ネットと共に育ち、ネット社会に生きる我々こそ、時には立ち止まって新聞に目を通してみてもどうか。

スマホなくても楽しく充実

中学生 13 (大阪府)

以前、スマホを持っていないくても最低限の情報は回ってくるし、元気に生きていくという高校生の投書を読んで強く共感した。

私もスマホを持っていない。でも、ピアノを弾いたり本を読んだりして好きなことや打ち込めることがあるので欲しいと思わない。

最近、「スマホがないと生きていられない」というほど、はまっている子どもが多いと感じる。それはスマホを触ること以外に好きなことがないからではないだろうか。

SNSのトラブルや友だちとのけんかにつながる危険性がある。小・中学生が使い方を間違えてトラブルに巻き込まれるのは絶対に防がなければいけない。

使い方に気をつけてスマホを持つという選択もあるが、判断力が弱い子どもはスマホを持たない方がいいと思う。スマホがなくても、私は楽しく充実した日々を送っている。

文章（新聞や本）を読む習慣がない。便利なスマホでやりとりをすませ、面と向かって話さない。自分の考えや気持ちを文章にして（日記や手紙を）書かない。これらのことが、国語の力を伸ばせない最大の原因ではないでしょうか。